

# わんにゃん通信6月号



担当 田代

## 狂犬病とは???

狂犬病は、狂犬病ウイルスに感染した犬などの哺乳類にかまれたり、引っかかれたりしてウイルスが体内に侵入することで発症する感染症です。致死率はほぼ100%です。1956年以降、日本国内でヒトが感染して発症した例はありませんが、全世界ではアジア、南米、アフリカを中心55,000人ほどが発症し、死亡しています。

狂犬病のない国は日本を含め世界中で7カ国程度しかないので、海外では感染に十分に注意する必要があります。犬以外にはキツネやアライグマなどからの感染もありますが、特に注意を要するのはコウモリです。南米ではコウモリからの集団発生例が報告されています。感染した動物にかまれたり、引っかかれたりして体内に入った狂犬病ウイルスは、創部(かまれたり、引っかかれたりしたところ)からゆっくりと神経を通して中枢神経に侵入して発症します。感染から発症までの潜伏期は、1~3カ月程度のことが多いですが、長い場合は半年以上のこともあります。



コウモリ・アライグマ・キツネ  
などにも注意が必要

狂犬病ウイルスに感染した犬などにかまれたり  
引っかかれたりしてウイルスが体内に侵入する



## 狂犬病の予防接種は、飼い主さんの義務です

狂犬病は、狂犬病ウイルスが感染して起こる病気。犬だけでなく哺乳類すべてに感染する人獣共通感染症で、発症するとほぼ100%死亡するといわれる恐ろしい病気です。現在、日本で狂犬病は発生していませんが、海外からウイルスが侵入する可能性はゼロではありません。愛犬だけでなく、飼い主さんや周りの人の命を守るために、犬を飼い始めたら狂犬病の予防接種を受けることが義務づけられています。

## 狂犬病の予防接種、受ける時期は？

子犬は、母乳から免疫力を受け継ぎます。その効果が切れるのが、生後8～16週ごろ。この時期に予防接種を受けることで、新たな免疫を獲得し、狂犬病が防げます。免疫力の効果が切れる時期には個体差があります。狂犬病の予防接種は、犬を飼う人の義務。年に1回、春先に行われる地方自治体での集団接種のほか、動物病院ではいつでも受けることができます。



- ・初めての接種時期 **生後 91 日(13 週)以降**
- ・翌年以降の接種 **毎年1回**



## 恵子先生のコラム



現在狂犬病清浄国とされといる地域はどこでしょう？

左の地図を見たらわかるように、昔は清浄国だったのに狂犬病が発生して、清浄国ではなくなった地域もあります(棒線で消されている地域)日本も今は発生がありませんが、みんなで気を付けましょう！

**答え:** ハワイ、グアム、フィジー諸島、オーストラリア、ニュージーランド、アイスランド、日本(島国だけです)

